

ものづくり補助金活用
ココがポイント!



ティーバッグ商品が
どんどん増加中

12種類の新商品!

釜炒り茶を初め、ウーロン茶や紅茶ほうじ茶など、ティーバッグ商品を立て続けに発売。機械を導入してから、12もの商品がラインナップに加わりました。

hope - 我が社のホープ —

充填包装機のおかげで、新商品の開発に積極的に取り組めるようになりました。若い人たちにもっともっとペットボトルじゃないお茶を味わってもらいたいですし、お茶を飲む習慣を広めていきたいので、今後はお茶カフェを開こうと計画しているんですよ。

奈良 実津子 (45)
なら みつこ

動画でも
check!



case 21

茶製造業
一心園

〒882-0401
宮崎県西臼杵郡日之影町大字七折9323
TEL.0982-87-2643

point!



国内でも珍しい釜炒り茶。芳ばしい香りとすっきりとした味わいが特徴です。



今後の展望

今、力を入れているティーバッグを初め、お客様のニーズに合った商品をどんどん開発して、よりたくさんの人々に釜炒り茶の魅力を知っていただきたいですね。

1時間に3,000個もの
ティーバッグを充填する
ことができるティーバッ
グ充填包装機。



充填機と同時に導入した高速切断機。本茶と浮葉、粉茶と一緒に切断してティーバッグに充填することで利益率が高まりました。

体制が整い、外注に頼る必要がなくなりました。そして何よりも大きかったのが、失敗を恐れることなく新商品の開発ができるようになつたことです。ティーバッグは茶葉の量のグラム単位で風味が変わってきます。その少しの差をいろいろと試すことで新商品にたどりつけるんです。今後もこの機械を使って、お客さまに喜んでいただける商品をもつともっと開発していきたいですね。そして釜炒り茶の魅力を全国の人たちに知つていただければと考へています」



〈代表〉
甲斐 鉄也
かい てつや

ものづくりへの想い

おいしいお茶を飲んでもらうために、畑づくりに関しても製造に関しても、まだまだ良いやり方がないかと今も追究しています。終わりがないところがものづくりの面白さなんですね。

気軽に飲める ティーバッグで 釜炒り茶の魅力を広める

有機栽培した釜炒り茶を製造販売する同社。消費者のニーズが手軽に飲める茶飲料にシフトしているのに合わせてティーバッグの充填包装機を導入し、ティーバッグの新商品開発を加速させました。



外注していたティーバッグへの充填を
充填包装機を導入して内省化。
新商品の開発を加速させました

「この機械のおかげで安定して商品を供給できる」と
ティーバッグ商品をどんどん市場に投入したいが、なかなかチャレンジできない。そんな葛藤を払拭されたのが、新たに導入したティーバッグ充填包装機です。

踏むような状況でした」

ティーバッグ商品をどんどん市場に投入したいが、なかなかチャレンジできない。そんな葛藤を払拭されたのが、新たに導入したティーバッグ充填包装機です。

機農法で育てた茶葉で、茶を製造する同社。かつて、お茶といえば急須を使って飲むリーフが主流でしたが、消費者のニーズは簡単に飲める茶飲料にシフトしていました。

「その流れに合わせてティーバッグの商品にも力を入れて、売上を伸ばしてきたのですが、いかんせん、茶葉をバッグに詰める作業が手仕事だったので、需要に追いつくことが難しかったんです。外注にも出ていたのですが、2~3万個単位で受けてもらえず、新商品を投入するのにもいきなり大ロットになってしまって、失敗したことを考えると二の足を踏むような状況でした」

有機農法で育てた茶葉で、茶を製造する同社。かつて、お茶といえば急須を使って飲むリーフが主流でしたが、消費者のニーズは簡単に飲める茶飲料にシフトしていました。

「その流れに合わせてティーバッグの商品にも力を入れて、売上を伸ばしてきたのですが、いかんせん、茶葉をバッグに詰める作業が手仕事だったので、需要に追いつくことが難しかったんです。外注にも出ていたのですが、2~3万個単位で受けてもらえず、新商品を投入するのにもいきなり大ロットになってしまって、失敗したことを考えると二の足を踏むような状況でした」

ティーバッグ商品をどんどん市場に投入したいが、なかなかチャレンジできない。そんな葛藤を払拭されたのが、新たに導入したティーバッグ充填包装機です。

「この機械のおかげで安定して商品を供給できる」と

ティーバッグ商品をどんどん市場に投入したいが、なかなかチャレンジできない。そんな葛藤を払拭されたのが、新たに導入したティーバッグ充填包装機です。

機農法で育てた茶葉で、茶を製造する同社。かつて、お茶といえば急須を使って飲むリーフが主流でしたが、消費者のニーズは簡単に飲める茶飲料にシフトしていました。

「その流れに合わせてティーバッグの商品にも力を入れて、売上を伸ばしてきたのですが、いかんせん、茶葉をバッグに詰める作業が手仕事だったので、需要に追いつくことが難しかったんです。外注にも出ていたのですが、2~3万個単位で受けてもらえず、新商品を投入するのにもいきなり大ロットになってしまって、失敗したことを考えると二の足を踏むような状況でした」

ティーバッグ商品をどんどん市場に投入したいが、なかなかチャレンジできない。そんな葛藤を払拭されたのが、新たに導入したティーバッグ充填包装機です。

「この機械のおかげで安定して商品を供給できる」と

ティーバッグ商品をどんどん市場に投入したいが、なかなかチャレンジできない。そんな葛藤を払拭されたのが、新たに導入したティーバッグ充填包装機です。

機農法で育てた茶葉で、茶を製造する同社。かつて、お茶といえば急須を使って飲むリーフが主流でしたが、消費者のニーズは簡単に飲める茶飲料にシフトていました。

「その流れに合わせてティーバッグの商品にも力を入れて、売上を伸ばしてきたのですが、いかんせん、茶葉をバッグに詰める作業が手仕事だったので、需要に追いつくことが難しかったんです。外注にも出ていたのですが、2~3万個単位で受けてもらえず、新商品を投入するのにもいきなり大ロットになってしまって、失敗したことを考えると二の足を踏むような状況でした」

ティーバッグ商品をどんどん市場に投入したいが、なかなかチャレンジできない。そんな葛藤を払拭されたのが、新たに導入したティーバッグ充填包装機です。

「この機械のおかげで安定して商品を供給できる」と

ティーバッグ商品をどんどん市場に投入したいが、なかなかチャレンジできない。そんな葛藤を払拭されたのが、新たに導入したティーバッグ充填包装機です。

機農法で育てた茶葉で、茶を製造する同社。かつて、お茶といえば急須を使って飲むリーフが主流でしたが、消費者のニーズは簡単に飲める茶飲料にシフトていました。

「その流れに合わせてティーバッグの商品にも力を入れて、売上を伸ばしてきたのですが、いかんせん、茶葉をバッグに詰める作業が手仕事だったので、需要に追いつくことが難しかったんです。外注にも出ていたのですが、2~3万個単位で受けてもらえず、新商品を投入するのにもいきなり大ロットになってしまって、失敗したことを考えると二の足を踏むような状況でした」

ティーバッグ商品をどんどん市場に投入したいが、なかなかチャレンジできない。そんな葛藤を払拭されたのが、新たに導入したティーバッグ充填包装機です。

「この機械のおかげで安定して商品を供給できる」と

ティーバッグ商品をどんどん市場に投入したいが、なかなかチャレンジできない。そんな葛藤を払拭されたのが、新たに導入したティーバッグ充填包装機です。

機農法で育てた茶葉で、茶を製造する同社。かつて、お茶といえば急須を使って飲むリーフが主流でしたが、消費者のニーズは簡単に飲める茶飲料にシフトっていました。

「その流れに合わせてティーバッグの商品にも力を入れて、売上を伸ばしてきたのですが、いかんせん、茶葉をバッグに詰める作業が手仕事だったので、需要に追いつくことが難しかったんです。外注にも出ていたのですが、2~3万個単位で受けてもらえず、新商品を投入するのにもいきなり大ロットになってしまって、失敗したことを考えると二の足を踏むような状況でした」

ティーバッグ商品をどんどん市場に投入したいが、なかなかチャレンジできない。そんな葛藤を払拭されたのが、新たに導入したティーバッグ充填包装機です。

「この機械のおかげで安定して商品を供給できる」と

ティーバッグ商品をどんどん市場に投入したいが、なかなかチャレンジできない。そんな葛藤を払拭されたのが、新たに導入したティーバッグ充填包装機です。

機農法で育てた茶葉で、茶を製造する同社。かつて、お茶といえば急須を使って飲むリーフが主流でしたが、消費者のニーズは簡単に飲める茶飲料にシフトていました。

「その流れに合わせてティーバッグの商品にも力を入れて、売上を伸ばしてきたのですが、いかんせん、茶葉をバッグに詰める作業が手仕事だったので、需要に追いつくことが難しかったんです。外注にも出ていたのですが、2~3万個単位で受けてもらえず、新商品を投入するのにもいきなり大ロットになってしまって、失敗したことを考えると二の足を踏むような状況でした」

ティーバッグ商品をどんどん市場に投入したいが、なかなかチャレンジできない。そんな葛藤を払拭されたのが、新たに導入したティーバッグ充填包装機です。

「この機械のおかげで安定して商品を供給できる」と

ティーバッグ商品をどんどん市場に投入したいが、なかなかチャレンジできない。そんな葛藤を払拭されたのが、新たに導入したティーバッグ充填包装機です。

機農法で育てた茶葉で、茶を製造する同社。かつて、お茶といえば急須を使って飲むリーフが主流でしたが、消費者のニーズは簡単に飲める茶飲料にシフトていました。

「その流れに合わせてティーバッグの商品にも力を入れて、売上を伸ばしてきたのですが、いかんせん、茶葉をバッグに詰める作業が手仕事だったので、需要に追いつくことが難しかったんです。外注にも出ていたのですが、2~3万個単位で受けてもらえず、新商品を投入するのにもいきなり大ロットになってしまって、失敗したことを考えると二の足を踏むような状況でした」

ティーバッグ商品をどんどん市場に投入したいが、なかなかチャレンジできない。そんな葛藤を払拭されたのが、新たに導入したティーバッグ

ものづくり補助金活用
ココがポイント!



製造スピードが桁違い



印刷、乾燥、糊付けの一連の工程を別々の作業で行っていたのが、一気に加工できるようになったので製造スピードが格段に早くなりました。

hope - 我が社のホープ —

これまでの設備に比べて製造スピードがかなり上がったので、作業が早く終わるようになり、空いた時間を生かして他の作業に従事することができるようになりました。今後は自分の持ち場だけではなく、すべての工程ができるようになって幅広く活躍したいですね。

岡崎 由宇 (35)
おかざき ゆう

動画でも
check!



case 22 |

パルプ・紙・紙加工品製造
新光パッケージ 株式会社

〒889-1914
宮崎県北諸県郡三股町大字蓼池3691
TEL.0986-52-3633

point!



打抜き機によってこれまで不可能だった多種多様な加工ができるようになりました。



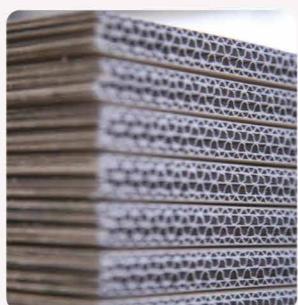
今後の展望

急な受注や小ロットなどへの小回りの利いた対応が当社の強みです。そこにこの設備が加わり、強みをさらに生かせるようになりました。今後もお客様のさまざまなニーズにお応えしていきたいですね。

これまでその都度段ボールを手で組んでいたのが、オートフィーダーによってほぼ自動で組紙されるように。



糊付けの精度が上がり、それがほとんどなくなったことで張り直しの作業も不要になりました。



「そんな状況を一変させたのが、給紙～印刷～糊付け～打抜き～結束までを一気に行う段ボール箱製造ラインです。『これまで印刷後に自然乾燥させて糊付けし、さらに乾燥させてようやく製品になっていたのですが、一連の工程をまとめたんです。そして何より大きいのはどんな段ボールも製造でき、細やかなニーズに対応できるようになったことです。段ボールの製造はなかなか他社との差別化が図りにくいのですが、これで優位性を確保することができます。新設備を導入して本当に良いこと尽くめですよ」



新光パッケージ 株式会社

老朽化していた 製造ラインを一新し 多様なニーズに応える

“人にやさしい容器を”をモットーに、段ボール箱などの梱包材を製造販売する同社。既存の設備では増え続ける多種多様な段ボール箱の製造ができなかったことから新たな設備を導入。順調に売上高を伸ばしています。



2012-2017 Made in Miyazaki monogatari
Passion

ものづくりへの想い

ものづくりは自分磨きだと考えています。つくったものを通して地域社会に貢献していくために日々、技術を磨いていく必要があるのですが、その過程が自分を成長させてくれるんですよ。



製造スピード、品質、安全性、収益性
すべてを向上させた新ラインで
課題だった優位性を確保

「都

城市のふるさと納税返
礼品用など、こことの
ころ段ボール箱の需要が増え続
けています。それはうれしいこ
となのですが、空気穴の場所や
数を指定されたり、規格外の大
きさだつたりと、お客様のニ
ーズはじつに多様で対応できな
いのが多くなってきたんです」

平成
24
年度

平成
25
年度

平成
26
年度

平成
27
年度

平成
28
年度

平成
29
年度

「老朽化が進んでいつダウンしてもおかしくない状態。したがって生産工程もかなり悪かつたのです。『こんな状況を一変させたのが、給紙～印刷～糊付け～打抜き～結束までを一気に行う段ボール箱製造ラインです。『これまで印刷後に自然乾燥させて糊付けし、さらに乾燥させてようやく製品になっていたのですが、一連の工程をまとめたんです。そして何より大きいのはどんな段ボールも製造でき、細やかなニーズに対応できるようになったことです。段ボールの製造はなかなか他社との差別化が図りにくいのですが、これで優位性を確保することができます。新設備を導入して本当に良いこと尽くめですよ』

ものづくり補助金活用
ココがポイント!



これまで外注していた部品加工を自社で行えるようになったことで工期短縮

工程
18日 ← 工程
25日

機械加工・ワイヤー加工の工程を7日間も短縮できるようになりました。取引先に対して工期回答が素早くできるようになりました。

hope - 我が社のホープ —

機械を使いこなせるようになるまでは大変でしたが、正確な加工を施し、自分が手掛けたものが完成したときには大きなやりがいを感じます。1日でも早く先輩たちに追いつけるように、技術磨きを頑張ります。

工藤 祐也 (25)
くどう ゆうや

動画でも
check!



case 25 |

精密機器部品加工・組立
有限会社 ワークス・宮崎

〒882-0024
宮崎県延岡市大武町5413-1
TEL.0982-26-8920

point!



中央に置かれた機械がスリッター。連続したフィルムシートやペーパーなどを巻き出し、必要なサイズにカットして、切断された材料を再び巻き取るロール加工機械です。



今後の展望

組立の仕事は部品が多く、複雑化・多様化しており、他社には模倣できない分野です。当社ならではの技術を継承していくながら今後の市場拡大を図っていきたいですね。

不具合を出さないためにも検品はとても重要な作業になります。



検品された部品を組み込んでいきます。納品してから不具合が生じては手遅れ。正確な仕事が求められます。



有限会社 ワークス・宮崎

外注品の内製化によって コスト削減・納期短縮を実現 顧客満足度もUP

産業機器や自動化機器などの部品製作から組立までを手掛け、業界から高い評価を得ている同社。精密ワイヤーカット放電加工機を導入し、これまで外注していた部品加工を自社で行えるようになったことで、コスト削減と納期短縮を実現することができました。

〈取締役常務〉
小笠原 裕生
おがわら ひろたか



ものづくりへの想い

組立というのは、部品をすべて製品の中に取り付けた状態で納品するため、完成したあとから中の部品を確認することができません。そのため、不具合を限りなくなくすることを徹底しています。



部品加工から組立までの一貫化を実現
さらなる市場拡大を目指す

私たちの仕事は、技術力があつてこそお客様から信頼をいただけるのであります。おかげで売上を順調に伸ばしています。
先で使われる製品のことを考えて、また、不具合を出さないということを第一に、社員全員が営業マンという意識を持って、これからも忠実な仕事に取り組んでいきたいと思います」

「こ」の機械によって、外注制作できるようになりました。自社で部品加工から組立までを一貫して行えるようになったことで、コストを3ヵ月平均で65%削減することができ、お客さまの希望に沿った納期で出荷

そこで考えたのが、外注していった「ワイヤ放電加工」の工程を内製化し、顧客のニーズと短納期を実現すること。電気熱を利用し細いワイヤに放電し、その熱で金属などの素材を切断加工するというものです。その作業を可能にさせたのが、新たに導入した「精密ワイヤーカット放電加工機」です。

そこで考えたのが、外注していった「ワイヤ放電加工」の工程を内製化し、顧客のニーズと短納期を実現すること。電気熱を利用し細いワイヤに放電し、その熱で金属などの素材を切断加工するというものです。その作業を可能にさせたのが、新たに導入した「精密ワイヤーカット放電加工機」です。

平成24年度
平成25年度
平成26年度
平成27年度
平成28年度
平成29年度

【当】 社の主力製品はスリッタードでいる大手メーカーは、納入台数の増産の要求があつたんです。しかし、スリッタードは部品の点数が多い上、その一部の製作を外注していたため、納期面とコスト面でロスが生まれていました